

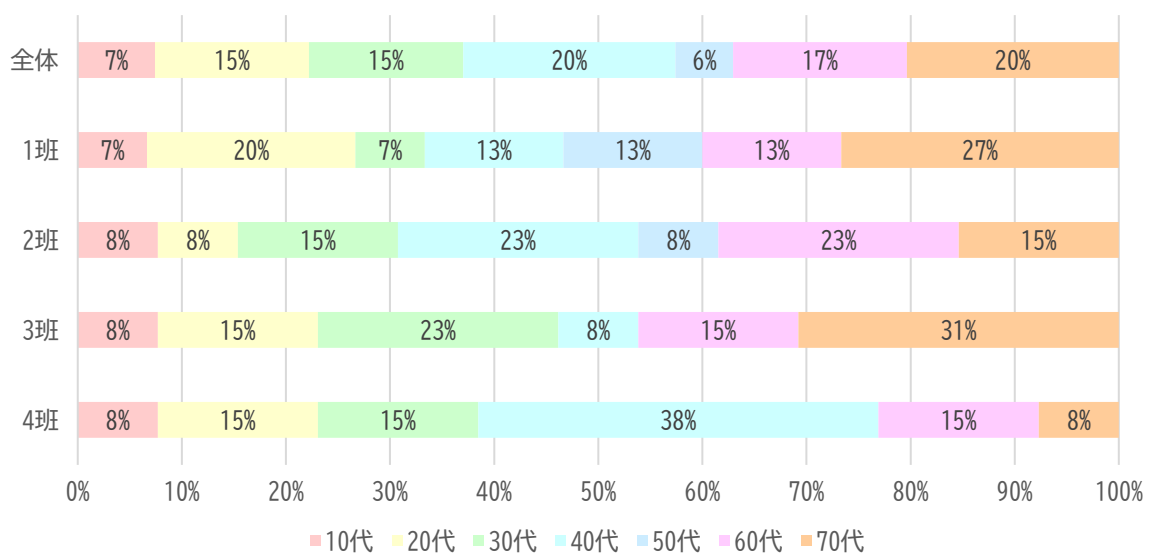
第2回自分ごと化会議 参加者アンケート回答結果

- 1 調査対象 第2回自分ごと化会議 参加者 55名
 2 調査時期 令和3年4月10日（土）
 3 回答結果 54件（回答率 98%）

	参加者	回答数	回答率
全体	55	54	98%
1班	15	15	100%
2班	13	13	100%
3班	13	13	100%
4班	14	13	93%

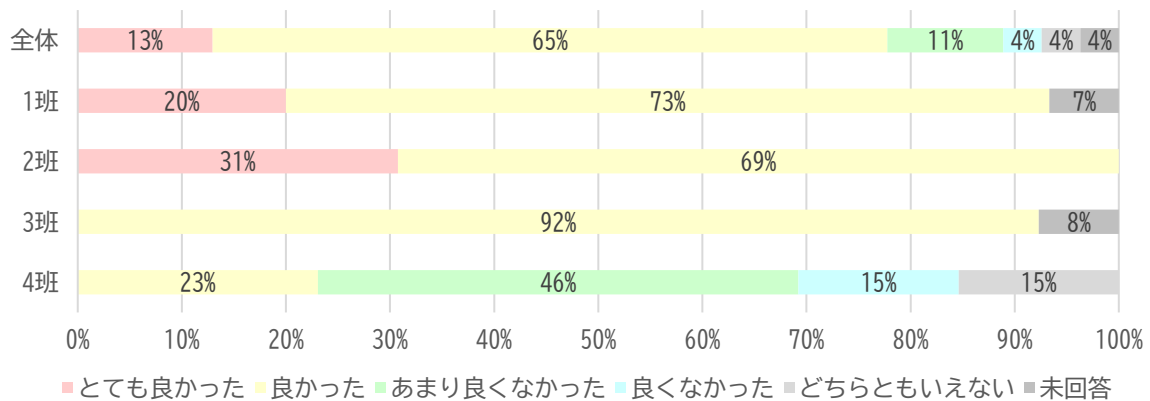
4 回答者の属性（年齢）

	全体		1班		2班		3班		4班	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
10代	4	7%	1	7%	1	8%	1	8%	1	8%
20代	8	15%	3	20%	1	8%	2	15%	2	15%
30代	8	15%	1	7%	2	15%	3	23%	2	15%
40代	11	20%	2	13%	3	23%	1	8%	5	38%
50代	3	6%	2	13%	1	8%	0	0%	0	0%
60代	9	17%	2	13%	3	23%	2	15%	2	15%
70代	11	20%	4	27%	2	15%	4	31%	1	8%
未回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	54	100%	15	100%	13	100%	13	100%	13	100%



Q1 第2回自分ごと化会議に参加してみていかがでしたか。

	全体		1班		2班		3班		4班	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
とても良かった	7	13%	3	20%	4	31%	0	0%	0	0%
良かった	35	65%	11	73%	9	69%	12	92%	3	23%
あまり良くなかった	6	11%	0	0%	0	0%	0	0%	6	46%
良くなかった	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	2	15%
どちらともいえない	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	2	15%
未回答	2	4%	1	7%	0	0%	1	8%	0	0%
合計	54	100%	15	100%	13	100%	13	100%	13	100%



Q2 長岡京市担当課の説明内容に対する感想等をご記入ください。

1班
各担当課の説明は、短時間の中でわかりやすくなった。
簡潔で分かりやすかったです。
長岡京市が今どの分野で力を入れているかについてよくわかった。
スライド等の説明が分かりやすかったです。
論点は整備されている。
もう少し具体例を含めて説明をしていただくとより分かりやすいです。
自治会の加入率や活動を、初めて知りました。数値として見ると、このぐらいだろうなあと思ったのが正直なところでしたが、他の参加者の方達は”少ない”と感じられている様子だったので、次回以降、自治会や協働について、環境とからめて考えていきたいと思えます。
行政の「親切さ」「すぐやる課」的発想で行政イメージは高められるが、相互信頼と合意形成をベースとして協働のまちづくりをすすめていくなかで、市民の自治意識が育つのが疑問。市役所が調整役になり得ないと思う。
環境業務課の方の説明は簡潔で環境業務課のおこなっている仕事の様子がよくわかった。

1班（続き）
ゴミ収集に対しての環境課の方々のサポートに感謝します。
ゴミステーションの数や、みどり保全活動など、知らなかったことを知れました。
指定ごみ袋になった時、黒ゴミ袋を放置していた理由が分かったのがよかった。

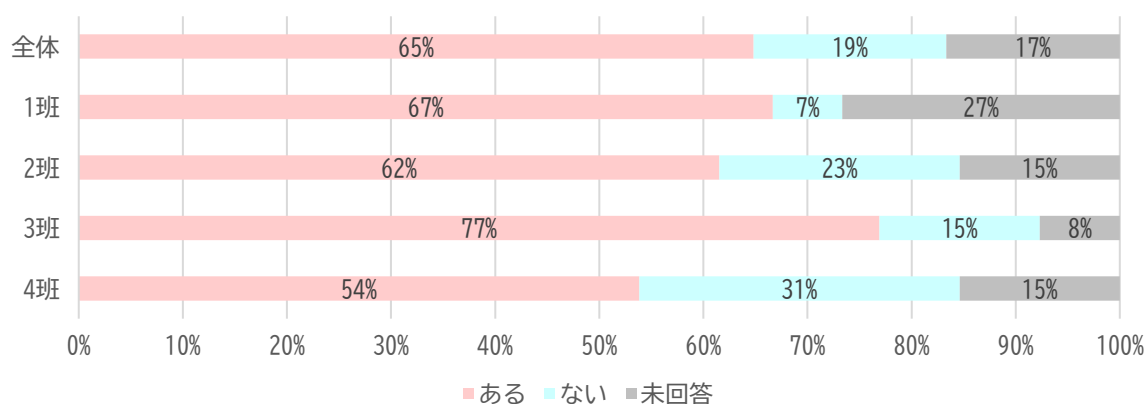
2班
長岡京市として災害に対する制度や現在行われていることなど詳しく説明して頂けたので聞くことができ良かったです。
市がどのようなことを防災でしているのかよく分かりました。
防災について行政の方と現状について共有できました。
出来ていないこともはっきり説明されていてとても良かったです。
対応できていること、対応できていないことが少しわかりません。
質問に的確に答えてくれていた。（防犯、社会福祉）
丁寧に説明されておられた。
丁寧に話をして頂いて、良い印象であった。
よく知ってくださっていて、詳しく分かりました！
わかりやすかったです。お疲れさまでした。
全体への説明はやはりわかりにくい部分があるか個別に聞くとよくわかった。

3班
自治会について詳しく知れたのは良かったです。
概略的な事は理解出来るが、数値ではない市の特徴の話があったら良かった。
自治会についての説明のことがよくわかりましたが、実際になぜ加入率が下がってるのかとか、行事による住んでいる人のメリット、デメリットはわかりませんでした。
とても分かりやすく、こういう機会に参加しないと知ることが出来ない詳しい現状も知れて、ありがたいです。
話し慣れておられると思いました。コンパクトにわかりやすかったです。
わかりやすく説明していただいた。
討議のテーマを絞ってディスカッションしていった方がよいと思います。話し合いの中でテーマが分散して結論がなかなか出てこないように感じました。

4班
説明が長かった。
情報量が少し多かった（余分だった）ように感じた。
資料を読むだけのものは、他の会議でもですが不用。
テーマや、やりたいこと、などの資料は事前に目を通せば良いので、そのように案内をする。テーマが大きいので、時間削減のため。
場当たりのものとなってしまっているので残念。論点に沿った説明等になればと希望します。
話が長いので要点をまとめて欲しかったです。1人の担当者が話をする時間を決めてほしい。（3分以上は長すぎる）
枚数が多いので番号を書いてすぐ探せる状態にしてほしい
一方的になっていた。目的が良く分からない。
頑張ってください。
参加者の合意を今後もお願いします。

Q3 今日の自分ごと化会議の中で、新たな発見や気づきはありましたか。

	全体		1班		2班		3班		4班	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ある	35	65%	10	67%	8	62%	10	77%	7	54%
ない	10	19%	1	7%	3	23%	2	15%	4	31%
未回答	9	17%	4	27%	2	15%	1	8%	2	15%
合計	54	100%	15	100%	13	100%	13	100%	13	100%



1班
参加されている方が、地域についてこんなにも関心を持っているのだなと感じました。
自治会の加入率が高い自治会は、活動を工夫されているのだなと思いました。
他地区の状況が分かって良かった。参考になる部分があった。
自治会のある地域では子供会など密接なコミュニティなどができ、地域の関係が深まるなど大変意義あるものだと思います。
自治会については、若い方がどのくらい認知されているのかな？という意識の部分が薄く感じる。
多様な年齢層の方々の意見を聞き、意識の高さを感じ、多々勉強するところがありました。
地域住民レベルと行政レベルの管理や作業でやるべき範囲を正しく理解できていなかった点に気が付くことができました。
長岡京市自体で行う補助、助成制度があるということを知ることが出来ました。
緑の協会、みどりのサポーターの仕組、地区内の公園の管理がどのように行われているかがわかった。
若い世代の方がすべて地域の思い出に子供会を挙げていました。「初期記憶」がその後の人生に大きな影響を与えるということを改めて認識しました。それらの経験をどう増やし、どのようにして地域住民を巻き込んでいくのか、子供を媒体としての仕掛けを考えていければ…。
私の地域ではゴミに関して特に策があるわけではなく、ゴミが散乱していても見て見ぬふりという感じでしたが、他の地域では掃除当番や監視役がいたりと様々な取り組みをされていたことに驚きました。

2班
いろいろと細部が知れました。
住みやすい、良い点ばかりでなく、必要な課題もあることに気づけたこと。
改善点は多くあるが見えないところで市は対応していく体制を整備していることが知れた。
それぞれの地域で防災対策としてどのようなことを行っているのか知ることができ、良いと思うポイントもいくつかありました。
防災に関する話で、水3Lの説明。
防災の市での取り組みを知ることができました。
災害時、要配慮者の把握支援について。マッピングし把握し普段から声掛けするという、良いヒントをいただいた。
要配慮者名簿の共有の仕方がかわった。
避難所の体育館は、床が木の為に痛い、冷たい。その対策が必要。自治会館や近くの公演は避難所として使用できるのか？
防災倉庫の備蓄品が少ない。（特に非常食・毛布）

3班
市内自治会の現状を知ることができた。自治会の活動の大切さを感じた。
自分の住んでいる地域（長岡京市）であっても、職員であっても、やはり知らないことが多かった。
自分の住んでいる地域外の自治会の活動や問題を知り、自分の地域と比較できました。
世代間での価値観、発想の新たな視点での気づきがあった。
皆さん自分の立場で真剣なご意見を述べられた、ご意見全てが私の血肉となっている。
中高年層が高齢者になった時にどうするべきか。
散歩コースのトイレ問題、高齢者サロンについてわかった。
ハイキングコースにトイレがない問題は、自分では気づけなかったことだと思う。
地域の公共交通に不満がある方の意見が聞けてよかった。
長岡京市に対する意識の違いの理由がわかった。 →もともと住んでいた人たちと、職場へのアクセスでここを選んだ人の違い。

4班
長岡京市内自治会の加入率が減少傾向にあること。
アンケート結果や、自治会の活動内容etc 知らなかった情報を知れた。
子育て支援として様々なことをやっている。
長岡京市の子育て支援状況（一部）、公園使用状況など資料説明であったことのほとんどが知らなかったので気づきになりました。
LINEの回覧板、良いと思いました。
「行政マンがみんなで前にいる」という状況をつくるのは、本当によくないことがおこると感じました。
会議の中で熱意は伝わりましたが、発見できる事は少なかったです。

Q4 次回以降に向けての要望や今日の感想など、ご自由に記入してください

1班
地域ごとのコミュニティを上手く活用し、皆が参画できるような仕組み、認知を進められる方法が必要かなと思います。
自治会に入るメリット、入らないメリットの検討。誰もが納得できるメリットを出し合って、自治会役員が自信をもって転入者に説明できるようになればと思います。現在は入らないメリット（「自治会費、募金等を求められない。」「役員にならずにすみ、時間的に自由。」等）が多い。加入率が低くなって未加入が多数派になりつつある現状では、自治会の存続自体が難しくなっている。今後は議論をもう少し簡単にして、例えば自治会に入るメリット入らないメリットを出し合う等、無作為抽出の方の発言を増やしていった方が、普段は聞けない意見を聞くことができるようになると思います。
自分自身、単身でマンション住まいで自治会未加入という立場で話を聞きました。
子供会までは”なんとなく”地域と関わりがあっても、中学生～世帯をもつまでの間の自治会への意識については興味深いと思いました。
自治会の一番の存在意義は、防災面（有事に備える）が、伝わりやすいと感じました。
ごみの収集について、ライフスタイルに合わせたやり方、例えば、お金払ってでも、手間が省ける方がいいと考える世代は一定数いると思う。必ずしも今のやり方（ステーションで分別して、前日昼からかごを置いて）に合わせていくことを前提とせず、住民で決めていくスタイルを作っていけばいいと思いました。
自治会にライトに入っておきたい、というニーズは高いと思う。何かあった時は、助け合う気持ちはあるけど、役員の仕事や、”これ何のためにある…？”と思う活動が多そうなイメージ。でも、顔見知りぐらいにはなっておきたい… 程度が多いのでは。長岡京市に多い「働く世代」（今回参加少ないけど、層としては厚い）が参加できる、しやすい、制度を。自治会活動の精査。モラルの話。
ランダムなので、仕方がないと思いますが、高齢者が多いなと感じました（笑）。
普段聞ける事のない方（自治会長さん等）の意見を聞くことができたので有意義な時間でした。
新しい知識がどんどん増えていくのがうれしいです。次回の会議にもぜひ参加してたくさんのお話を聞きたいです。
想像以上に楽しい時間だったので、次回も楽しみにしています。
多くの方に発言していただくように配慮しているのはよかったと思う。子供に対する環境対策のあり方を考える。
議題の環境問題に地域自治体の協力が必須であるのは理解できますが、参加者の方の話が長すぎて、目標に向かっての解決策になかなか取り組めないと思いました。
事前配布された「環境基本計画」についての説明を是非して頂きたい。市民活動モデルプロジェクトの活動実績と課題、具体的な解決策を組み込んだ説明が欲しい。

2班
安心メールの項目に、防犯情報が入るといいなと思いました。
司会の方もおっしゃっていましたが、防犯の面のことがあまり話し合えていなかったのも、その面でも話し合っていくことができればより良いなと思います。2回目の自分ごと化会議に参加して、前回とは違った気づきがあったので、今後も可能な限り参加したいなと思いました。

2班（続き）
地震などの対策の課題（(ex)自助、共助、公助や災害時要配慮者）についてとても話がふくらんでいるなあと感じています。
防犯抑止について、カメラの存在をもっとアピールした方がいいのではないかと？
災害などの防災についてもとても大切だなと感じますが、日常の防犯面でも話ができればいいなと思いました。近頃、身近で痴漢などもあったことを知ったので…。どうしても防災面はコミュニティや自治会に入っていないと意見も述べにくく…。（みなさんのお話を聞け、とても勉強にはなっています！）防犯面だと長岡京市の日常について話が出来て、自分ごととして捉えられるのかなと思いました。もっと自分に出来ることを見つける時間にしていきたいなと思いました！
若年層にも分かりやすい資料があると良いと感じた。題が漠然としていて、実感しにくいのではないのかと感じた。馬場交差点の改善案はないのか、時差式にする等。
前はそのビジョンがよくわからなかったが、今回、分科会でじっくり話を聞き、この会議の意図が少しわかってきた。次回を楽しみにします。
とても有意義でした。もっと時間をかけて話せると良いと思いました。
今まで知らなかった情報を得ることができ、有意義な会議でした。要配慮者支援に関しては3班（高齢者）、4班（子ども、子育て）ですくい上げられた意見とも照らし合わせて、より良い支援策を導きたいものです。
メンバー的に自治会、自主防災会、民生児童委員をされている方が多く、よくよく市の取り組みや制度などご存じの方は質問、意見が出やすいですが、若い世代の方が意見を言うには、ちょっと話の内容が難しいと感じました。地域で活動されている方との世代間ギャップがあるので仕方ないとは思いますが、若い世代に情報を届けることが行政としても課題だと感じているので、こうした機会に意見を聞けると有意義かと思えます。

3班
高齢者は彼らのコミュニティで課題対応できていることが多く課題を考えるのが難しかった。しかし、言われてみると団体を作っているのは女性が多いと思います。
いろいろな人の意見が聞けて良かったです。前回気になっていた世代間の差の理由が、なんとなく理解できました。今後も対策が必要な部分なので、世代間の差を埋める方法を考えたいと思います。
前回よりも高齢者の参加者の比率が高いためか、高齢者が感じている課題がよくわかったが、現役世代、若者の意見を聞く場面が少なかった。テーマが高齢者なのでそれはそれで良いのかもしれないが、やや高齢者の意見に引っ張られているように感じた。
皆さんの考えが聞けて刺激になりました。〇〇さんのおっしゃったように自分で自分を良くする自覚もそれができない人（病気等様々ありますが）に対する手当ても必要。うつ病の話もでしたが、精神病は目に見えない分、人々の知識と思いやりが大事ななあ…と…。ただの感想になってしまいましたが…。あとファシリテーションが本当にさすが…勉強になります…！
途中、論点がよくわからなくなった時がありましたが、最後、うまくまとめて下さったように思います。
回を重ねる毎に焦点を絞っていく必要があるのでは？Gr全体としての議論も必要だが、テーマを絞った形でテーマ毎に小Gr化して議論を深めて行く事にはどうか。
小グループでの話し合いの時間があっても話しやすくなるかなと感じました。仲良くなれば、意見が出やすくなるようになればと思いました。
すばらしい自治会があればその地域をみんなで見学したいです。

4班
色々行政や自治会がやっているのは理解できるが、目的、成果がよくわからない。惰性でやっているものは無くせば良い。それくらい切り詰めないと課題なんて出ない。
今後のスケジュールに対して、全体的なところを明確にしたレジメがあるとありがたいと思います。
今回の会議を通して、「説明>討議」となっている時間配分は本末転倒だと思うので、討議をメインにできる仕組みを考えてはどうかと思います。
最後の30分間に話せた時間が本当に有意義だったので、こういう時間を増やしてほしい。若い人たちの意見ができるだけできるだけ聞きたい。
抽出したテーマを全員で議論するのではなく、グループ（2~4名）に分けて進めた方が良い。

Q5 第3回自分ごと化会議について、参加・不参加のご都合をお聞かせください

	全体		1班		2班		3班		4班	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
参加	31	57%	10	67%	9	69%	5	38%	7	54%
不参加	4	7%	0	0%	2	15%	2	15%	0	0%
未定	14	26%	4	27%	1	8%	4	31%	5	38%
未回答	5	9%	1	7%	1	8%	2	15%	1	8%
合計	54	100%	15	100%	13	100%	13	100%	13	100%

